

令和3年12月17日

所属 文化・教育・くらし創造部文化財保存課

担当 記念物・埋蔵文化財係

電話 0742-27-9866

令和3年12月17日（金）に開催されました国の文化審議会文化財分科会（会長 佐藤 信）において、史跡名勝天然記念物等の指定が答申されました。そのうち奈良県に關係するもの（2件。史跡 興福寺旧境内（追加指定）、史跡 宮山古墳（追加指定））について、お知らせします。

史跡の追加指定 2件

1. 名称 興福寺旧境内（こうふくじきゅうけいだい）

2. 所在地 奈良市高畑町、登大路町

3. 面積 既指定地： 12,714.63 m²
追加指定地： 907.78 m²

4. 概要

和同3年に藤原氏の氏寺として平城京外京に創建された大寺。創建後、度重なる天災や兵火により被災したが、その度に創建当時の伽藍に復興され、古代以降の宗教儀礼や信仰を考へる上でも極めて重要。今回、旧境内で見つかった瓦窯跡を追加指定する。

1. 名称 宮山古墳（みややまこふん）

2. 所在地 御所市室

3. 面積 既指定地： 13,886.00 m²
追加指定地： 2,757.40 m²

4. 概要

奈良盆地南西端の巨勢山丘陵北麓に、古墳時代中期に築造された墳長238mの大型前方後円墳。後円部に2基の竪穴式石室の埋葬施設、墳丘に葺石と埴輪が認められる。周濠と周堤を巡らし、周堤に接するように方墳のネコ塚古墳が存在する。今回、条件の整った部分を追加指定する。